

平成二十年度 新規採用職員辞令交付式 知事訓辞

(平成二十年四月一日 県庁講堂)

皆さん、おはようございます。

本日、五十八名の皆さんを新たに島根県職員として迎えました。

多くの方々は、学校を卒業し新たに就職されたのであります。既に働いた経験のある人、社会人として独立されていた人もおられますが、多くの皆さんはこれまで、自分の生活について親などに依存してきた訳で、これからは自ら誰かのために働いて報酬を得て自立していくことになります。

そこで、まず、皆さんは誰のために働くかということがあります。言うまでもなく、県の行政は県民の皆様のために行われるものです。従って、県職員として働くということは県民全体のために働くということでもあります。

皆さんには、まず、そうした自覚をもって職務に臨まれることを望みます。

皆さんは、今後、様々な分野、さまざまな地域で働くこととなりますが、それぞれの職務の現場において、県民の方々の要望、意見、声をよく聞き、それに応えていくことが最も大切なことでもあります。そして、どうすれば県民の方々に喜んでもらえるのか、どうすれば県民の方々の要望に応えられるのか、常に考える必要があります。常に工夫・努力をする責務があります。

県の財政が豊かな時代には、県民のために県の資金（これも実は県民全体のものです）を使って、施設を建設し、道路を整備し、多くの人を雇用して、県民の皆様の要望に応えることができました。

しかし、近年、県の財政は悪化しており、昨年、この悪化した財政を今後10年かけて立て直すための計画を作成しました。そして、その計画の初年度の予算が、本日から始まる平成20年度の予算から始まります。

つまり、我々は県民のための行政に邁進しなければなりません。使える資金がかつてほど潤沢でないという厳しい制約のもとで、これを行わなければならないのです。

ではどうするか、ということになります。

我々を取り巻く環境、あるいは条件がこれまでと変わった訳ですから、我々の働き方もその変化に対応して変化させなければなりません。前例にとらわれず斬新で思い切ったアイデアや新しい意見をどんどん出して工夫をしなければなりません。みんな自由闊達な議論をし、県の行政を改善していくことが職員一人ひとりに求められています。

今、県庁内、各部署、各事務所で、いろいろな事務の合理化や改善が進んでいます。今日入られた皆さんが、すぐにそうした活動に、先頭にたって参加することは難しいと思いますが、先輩職員と活動を良く見て、勉強して行ってほしいと思います。

しかし、経費を切り詰め、財政を再建することが我々の最終目標ではありません。それは一つの手段にすぎません。最も大事なことは、「島根を元気にする」ことであり、「活力ある島根」を築くことでもあります。

島根で雇用が増えないため、多くの若者が都市へ行き、少子高齢化・人口減少が進んでしまいましたが、産業を振興し、「県民の皆さんが生き生きと暮らせる島根」を実現させなければなりません。

幸い、島根には大都市で失われてしまった、①豊かな自然、②古き良き文化・伝統、③温かい人間関係や地域社会が残っており、真面目でよく働く人々がいます。これらは、島根の大きな強みであり、この強みを活用していけば、先行きにあまり悲観的になる必要はないと私は考えております。

「元気な島根」を実現するためには、こうした強みを活用し、職員が一丸となって取り組まなければなりません。特に、皆さんのような若い人の、時代を先取りする先見性、創造性と鋭い感性、様々な困難に負けることなくチャレンジする精神が必要であります。

皆さんの前途には多くのチャレンジが待ち構えています。新たに県職員となられた皆さんには、県民のために働く県職員としての①自覚、②責任、そして③誇りをもって職務に励まれ、先輩職員たちが既に取り組んでいるチャレンジに早く新たな働き手として加わってもらよう希望いたします。

一緒に頑張りましょう。